

Vol.207

今回の主な内容

- 市政を問う代表質問…………… 2
- ここが聞きたい一般質問…………… 4
- 総合計画の審議…………… 6
- 常任委員会・予算特別委員会
分科会審査内容…………… 7
- 議案等の審議結果…………… 8
- 予算特別委員会の概要 …… 9



福島市観光PR
キャラクター
「Eemil」



3月定例会議を開きました<3月1日~3月25日 (25日間)>

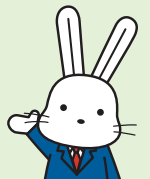
<p>3月1日 開会 本会議・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長から議案48件、報告1件を提出後、提案理由を説明 ・先議議案の審議、常任委員会審査、採決 <p>3月5日 本会議・委員会</p> <p>追加議案の審議、常任委員会審査、採決</p>	<p>3月5日~9日 本会議(代表質問)</p> <p>各会派の代表6人が登壇、施政方針などに関して質疑、応答</p> <p>3月10日~12日 本会議(一般質問)</p> <p>12人の議員が登壇、市政の諸課題などに関して質疑、応答</p> <p>2~5ページ</p>	<p>3月12日~15日 特別委員会</p> <p>総合計画に関する審査特別委員会を設置、議案を審査</p> <p>3月16日 本会議</p> <p>総合計画まちづくり基本ビジョン審査特別委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決</p> <p>6ページ</p>	<p>3月17日~22日 常任委員会</p> <p>議案や請願を審査</p> <p>3月16日~23日 予算特別委員会</p> <p>令和3年度の予算を審査</p> <p>7、9ページ</p>	<p>3月25日 閉会 本会議・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決 ・追加議案の審議、常任委員会審査、採決 <p>8~9ページ</p>
---	--	--	---	---

議会トピックス

3月定例会議

- ☑ **初日に議案を先議**
国の総合経済対策に呼応し、速やかな対応を図るための補正予算など(35億円)を審議、可決
主な内容
・あづま陸上競技場魅力創出事業
・福島養護学校校舎等改築事業 など
- ☑ **令和3年2月13日福島県沖地震対応関連議案を先議**
市民生活に直結し、急を要することから、5日に追加で提出された補正予算(10億円)を同日審議、可決
主な内容
災害見舞金等支給事業、住宅応急修理、災害等廃棄物処理、全壊と判定された市営住宅の解体経費 など

- ☑ **新たなまちづくり全体の指針となる福島市総合計画案を審議、可決** ※詳しくは6ページへ
- ☑ **令和3年度当初予算案(1,123億円)を審議、可決** ※詳しくは9ページへ
- ☑ **令和3年度当初予算を補正**
補正予算案が最終日に追加で提出され、同日審議、可決
主な内容
・新型コロナウイルス感染症対策関連(37億円)
ワクチン接種、ふくしま市民生活エールクーポン など
・福島県沖地震対応関連(1億円)
住宅屋根改修助成事業、市有施設などの災害復旧 など



1月18日緊急会議 開催

- 令和2年度**5回目**の緊急会議を開催、補正予算案(16億円)などを審議、可決
- 主な内容**
新型コロナウイルス感染症対策関連(10億円)
・事業者営業継続緊急支援(給付金交付)
・PCR検査事業 など

令和3年春季 議会報告会・意見交換会を開催します!

※詳しくは10ページへ

タイトル
写真

3月26日に行われた東京2020オリンピック聖火リレー。福島市の東京2020オリンピック・パラリンピックに関する情報はQRコードからご覧ください。



市政を問う!

代表質問Q&A

真結の会



新年度の施政方針

二階堂 武文

Q 新総合計画の5年間にわたるまちづくりへの決意は。

A 令和3年度からは第2期復興・創生期間が始まり、新しい総合計画もスタートする。コロナ禍の一日も早い克服に努め、ポストコロナ時代を見据えた新しい発想による社会づくりを進める。

また、連続テレビ小説や東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを生かしつつ、市政のグランドアップを図る。

新総合計画に掲げた5つの視点を織り込んで、積極的に施策を推進し、世界にエールを送るまちふくしまを目指していく。

その他の主な質問

①飯坂・土湯・高湯温泉に関するGOTOトラベルの効果や課題、活性化に向けた令和3年度の取り組み

②福島市文化振興条例における人材育成や発掘という観点からの令和



3年度の取り組み

③温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた具体的な取り組み

④意欲ある新規就農者の確保と人材育成、定着に向けた令和3年度の取り組み



真政会



予算編成方針と予算案

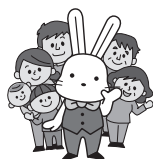
半沢 正典

Q 市長の任期中最終年度の予算編成方針と予算案に対する自己評価は。

A 開かれた市政とスピードと実行をモットーに、健全な財政運営を基調としつつ、予算編成に最大限の努力をした。

歳出の面では、10年先を見据えた10本の重点施策を柱として、時代を反映した新たな行政需要に予算を重点配分し、除染関連事業を除いた予算額が過去最高となる積極型予算とした。

新型コロナウイルス感染症の影響により税収が大幅に減少する中、財源の捻出に努力を講じ、市民との共創により新しい復興創生ステージへ力強くスタートさせるといふ強い意欲が反映された予算である。



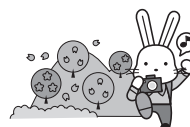
その他の主な質問

①東京2020オリンピック・パラリンピックの成功に向けた競技開催都市としての本市の取り組み状況

②原発事故の残された課題と解決策、未曾有の複合災害の記憶と教訓の継承方法

③新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の計画の概要と、スムーズな接種のための市民への留意点

④ウイズコロナの中、影響が大きい観光、商業に対する新たな取り組みや支援策、魅力的な観光戦略



市民21

自治体行政を遂行する



上での道徳観
高木 克尚

Q 市民に寄り添う立場にある市長に必要な道徳観を踏まえたガバナンスについての所見は。

A 市長就任以来、公平・公正・誠実を旨として市政にあたってきた。全体的なバランスと戦略を考え、率直なコミュニケーションを図りながら職務を誠実に果たしてきた。また、市民に寄り添った市政の実現のため、進んで市民や事業者などの現場に入り、率直かつ対等な立場

を意識して対話し、関係構築を図ってきた。

災害時には早期に現地に赴き、実情を踏まえて迅速な対応に努めてきた。女性や若者などの声も積極的に聴くとともに働きかけも行っている。

市役所組織での対応に加え、個人として現場に向くとともにSNSを活用した情報発信に努め、共創の取り組みを実践してきた。

今後も市民から信頼される市政運営に努める。

その他の主な質問

- ①ハラスメント指針およびパワハラ以外のハラスメント防止対策
- ②深刻化する孤立・無価値感から子どもたちを救うための対応
- ③災害における自治体職員の不幸の連鎖対策
- ④祝日変更が市民生活に影響する課題と対策



代表質問とは?

各党派代表の6人の議員が、施政方針や予算編成方針をはじめ市政運営に関する質問を行います。

代表質問の中から、質問および答弁の要旨を1件、その他の主な質問の項目を4件掲載しています。

公明党



東京2020

オリンピック・

パラリンピック

後藤 善次

Q 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会から本市は、どのように変わっていくのか。

A 東京2020オリンピック・パラリンピックを一過性のものに終わらせないようレガシーの創出に重点を置き進めてきた。賑わいのあるまちづくりとして福島駅西口の大ひさしの美装化や大型ビジョンの設置、スポーツによるまちづくりとしてスポーツ施設の整備や福島市スポーツコミッションの立ち上げ、受動喫煙防止対策など健都ふくしまの創造に取り組む。

共生社会の実現に向け、バリアフリーや多様性を尊重した多文化共生など、ハード・ソフト・心のバリアフリーをさらに推進し、誰にでもやさしいふくしまを目指す。



その他の主な質問

- ① GIGAスクール構想の推進に係る課題
- ② 本市の新型コロナウイルス感染症の感染を抑える急所
- ③ 東京2020オリンピック・パラ

リンピック開催時の来訪者を迎えるおもてなし

- ④ 子育て世代、高齢者、低所得者などの動向を踏まえた持続可能な住宅政策



日本共産党



新型コロナウイルス

感染症防止対策

佐々木 優

Q 医療、高齢者・保育・教育施設、飲食店などで定期的にPCR検査や抗原検査を行うべきでは。

A 高齢者、障がい者入所施設の職員を対象に1月から2月にかけて167施設5,674人、酒類の提供を行う飲食店などの従業員を対象に12月から2月にかけて424店舗、1,328人のPCR検査を行った。

高齢者、障がい者入所施設に対する感染防止対策アドバイザーの訪問指導の実施、飲食店に対する自己チェック・訪問指導によりクラスターの未然防止に努めているとともに、専門の相談窓口を開設、相談に応じられる体制をとっている。今後も、必要に応じ柔軟に検査を行う。

その他の主な質問

- ① 事業者への持続化給付金の再給付などの支援を国に求めるべきでは



② 生活保護申請にあたり扶養照会をやめるべきでは

③ 環境負荷を少なくし持続可能な農業につながる有機農業の拡大

④ 現状のジェンダー格差を解消していくための取り組み



社民党・護憲連合



子育て支援の充実

沢井 和宏

Q 福島市子どものえがお条例制定に向けたスケジュールと、地域社会全体で子育てを支援する気運を高めるための取り組みは。

A パブリックコメントの意見を精査し、条例制定に向けた準備を進めている。本条例では、子どものえがおあふれる社会の実現を目的としており、保護者、育ち学ぶ施設、地域住民、事業者、行政が、それぞれの役割を担うことで、地域社会全体で子どもたちを大切にし、子どもの育ちや子育てを支援していくという市民意識の醸成が必要と考え、条文も幅広く理解いただけの表現・内容とした。

制定後は、児童向けパンフレットの作成など周知、啓発に努める。



その他の主な質問

① ヤングケアラーの実態と今後の対応

② 健都ふくしま創造事業におけるこれまでの活動状況

③ ごみ減量大作戦第3次展開の具体的施策

④ 新たな地域公共交通の在り方の可能性



本会議の映像を配信しています
代表質問、一般質問などの本会議の様子をご覧いただけるよう、録画映像をインターネットで配信しています。
議会ホームページのトップ画面「議会中継」またはQRコードからご覧ください。



質問の順序について

代表質問の順序は、所属議員の多い会派から行い、所属議員の人数が同じ場合は輪番で行います。

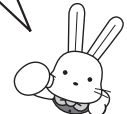
一般質問の順序は、抽選により決定します。



抽選会の様子

ここが聞きたい！ 一般質問Q&A

一般質問とは？
議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。
その中から質問および答弁の要旨を1件掲載しています。



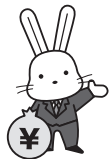
行財政



今後の財政運営への
中長期的な影響
渡辺 敏彦

Q 市街地再開発事業と集客施設整備事業による今後の財政運営への影響は。

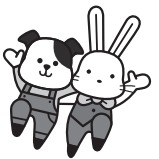
A 福島駅東口地区市街地再開発事業と連携を図りながら進める福島駅前交流・集客拠点施設整備事業は、本市にとって、これまでに例のない大規模事業であり、財政運営に少なからず影響がある。今後、国・県補助金などの財源確保や交付税措置のある有利な市債や基金の積極的な活用により、実質的な市の負担軽減を図り、中長期的に持続可能な財政運営に努める。



ふるさと納税の増収に向けた新たな取り組み
小松 良行

Q ふるさと納税の収入に10億円を見込んでいるが、増収に向けた新たな取り組みは。

A 令和3年度は、寄付金の使用道や実績などを分かりやすく紹介するほか、寄付者のニーズに対応した返礼品の開発、古閑裕而のまち・ふくしまチェンバーオーケストラ創設のクラウドファンディング導入に取り組み。また、シテイセールの推進、本市ゆかりの首都圏在住者との交流会、被災3県朝ドラ連携プロジェクトによる首都圏での情報発信を通じ、本市応援人口の拡大を図る。



くらし・安全



消防団員の確保と
処遇改善
真田 広志

Q 地域防災を担う消防団員の確保に向け、報酬の引き上げなど直ちに処遇改善に努めるべきでは。

A 本市の費用弁償などの額は、交付税単価との開きがある一方、独自の支援を行っている。今後、こうした事情や総務大臣からの要請を

踏まえ、災害対応や訓練、行事の整備など多様な消防団の活動実態に見合った費用弁償などの在り方を検討し、消防団の担い手を継続的に確保できるよう処遇改善策を速やかに検討する。



災害時のペットの避難
二階堂 利枝

Q 災害時の犬や猫などのペットの避難に関する取り組みは。

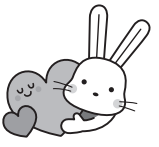
A 現在、指定避難所への同行避難を可能としており、一部の避難所ではペット専用のスペースを設け、ペットと飼い主が安心して避難できる環境整備を進めている。今後、指定避難所内のペット専用スペースの拡充に努め、民間団体などの協力による適正な運営が可能となるように、ペット同伴者専用の避難所の在り方も検討する。



小中学校に開設する
避難所へのエアコン設置
山田 裕

Q 避難所に指定されている小中学校の体育館が過酷な環境とならないためにも、エアコンの設置が必要では。

A 小中学校を避難所として開設する場合、多くの市民を受け入れられる体育館内に避難していただく準備をしている。避難者の健康に配慮する観点から、エアコンが設置されている教室の活用が必要な場合には各学校と調整し、適切に対応する。



産業・経済



5GでのVRなどを
活用した農業の取り組み
根本 雅昭

Q 農業における、VRなどを用いた後継者育成やドローンによるリモートセンシング（注1）など、5G（注2）を活用した施策は。

A 自動トラクターなどの遠隔制御による複数台数の同時操作やリモートセンシングで得たデータなどを活用した適切な肥料散布、AIを活用した病害虫被害の早期診断と精度向上、VRによる技術継承などに5Gの活用が考えられる。これらの技術の実用化は、今後の農業の持続的発展に寄与するものであり、（仮称）福島市スマート農業検討会において検討する。





雇用を守る施策

川又 康彦

Q 雇用を守る施策が経済対策として重要であり、社会保険料の事業者負担分を助成する制度が必要では。

A 社会保険料は、地域の医療費の状況や社会保障の給付水準などに応じ決定される。市が助成を行うには多額の費用を要することになるため、国や健康保険組合などにおいて検討すべきと考える。



環境・ごみ



果樹剪定枝の焼却

鈴木 正実

Q 本市はゼロカーボンシティを推進するとしているが、果樹剪定枝の焼却に関する今後の対応は。

A 剪定枝が多量に発生している現状を理解していただく取り組みだけではなく、焼却によらない抜本的な果樹剪定枝の適正処理への転換を検討する。具体的にはチップ化によるほ場への還元、防霜対策時の燃焼材としての活用や家庭用薪ストーブへの活用促進など、焼却処理

する剪定枝の量の削減に努める。農業生産者への過重負担による就業意欲の減退を招かないように農業振興と環境保全のバランスを考えた取り組みの推進が重要である。



福祉・健康

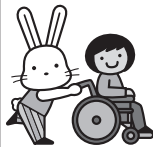


ケアラーに対する支援

丹治 誠

Q 自ら支援を求めることができず、ないケアラー（注3）に対して、アウトリーチ型での支援をすべきでは。

A 令和3年度は、地域住民が抱える複雑で複合的な課題の解決に向け、包括的な支援体制の整備をモデル事業として実施する。この中で、必要な支援が届いていない方への継続的な支援事業や社会とのつながりをつくる地域参加支援事業に取り組み、寄り添い、支援できる体制を構築する。



甲状腺検査の継続

佐原 真紀

Q 甲状腺がんの早期発見・早期治療のため、学校検査の継続を県に求めるべきでは。

A 県は、甲状腺検査のあり方について、検査対象者への聞き取りや県民健康調査検討委員会の判断で、今後も継続的に実施するとしている。市は、学校検査の継続を念頭に、検査会場の確保や広報活動などに協力する。



まちづくり

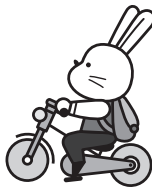


ももりんレンタサイクルの具体的な計画

小熊 省三

Q シェアサイクルへの移行後も、ももりんレンタサイクルの一部を一定期間残すとのことだが、具体的な今後の計画は。

A ももりんレンタサイクルは、利用者がシェアサイクルの使い方に慣れるまでの暫定措置として東口貸出所に10台程度を残して、順次台数を減らしていく。



（仮称）道の駅ふくしまと屋内こども遊び場の施設整備

羽田 房男

Q 他市の施設との差別化を図るため、どのような施設整備を目指すのか。

A おおぞうインターネットエンジンに隣接し交通の利便性が高いことから、県内外から多くの利用者が見込まれる。建屋は、県産材を活用した木造構造で、温かみと明るく開放的な作りが特徴である。さらに、近接する十六沼公園の各種子ども遊び場と合わせ、天候や気温に応じた利用が可能であり、子どもが思う存分に体を動かす、創造性を育める施設を目指す。

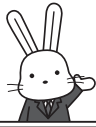


（注1）リモートセンシング：遠隔からセンサーを使って感知することやその手法・技法・技術のことであり、人工衛星や航空機などから地球の表面付近を観測する技術を指すことが多い。

（注2）5G：第5世代移動通信システム（5th Generation）の略称で、これまでと比較し、次の特徴が挙げられる。

- ①高速で大きな容量の通信ができること
- ②信頼性が高く低遅延の通信ができること
- ③多数の機器に同時に接続ができること

（注3）ケアラー：高齢、身体上、精神上の障がいまたは疾病などにより援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を行っている人のこと。



(注1) 将来構想：概ね10年先を見据えた目指すべき将来のまちの姿

(注2) 基本方針：将来構想を実現するための政策の方向性である5年間の基本的な考え方

第6次福島市 総合計画

本市の新たなまちづくり全体の指針を審議、可決

令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間を計画期間とする第6次福島市総合計画のうち、まちづくり基本ビジョン（将来構想、基本方針、重点施策、個別施策）の決定には議会の議決が必要です。

3月定例会議において、代表質問や一般質問による質疑とともに、議長を除く全議員で構成する総合計画まちづくり基本ビジョン審査特別委員会を設置し、執行部からの説明を聴取し慎重に審議を行いました。

～特別委員会での質疑・意見の一部～

将来構想(注1)

人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏（共創）都市
～世界にエールを送るまち ふくしま～

Q：共創とこれまでの協働の違いは。

A：共創は協働よりも、目標設定などの早い段階から、各種団体に加えてより多種多様な主体に参加いただき、新たな視点でご提案いただく。地域の魅力あるものを一緒に作っていく。

基本方針(注2)

1 子どもたちの未来が広がるまち

Q：子どもを守り育てる地域のつながりの希薄化に対して、5年間でどのように取り組むのか。

A：福島市子どものえがお条例制定により、地域も子育てに大きな役割を担い、地域社会全体で子どもを守り育てていく市民意識を醸成していく。

2 暮らしを支える安心安全のまち

Q：危機事象の発生時には人心の混乱を抑えとあるが、具体的にはどういうことか。

A：情報を正確に、適時・適切に発信することが人心の混乱を抑えるために重要。

3 次世代へ文化と環境をつなぐまち

Q：本市固有の文化・歴史の保存と活用は、観光とどう連携して取り組むのか。

A：ロケツーリズムやエールレガシーなど、民家園や写真美術館などを活用しながら文化財の保存と観光振興を結び付けていく。

4 産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち

Q：農業の担い手を意欲ある担い手と表現しているのはなぜか。

A：耕作地の拡大や生産性の向上など、地域で中心的に取り組んでいただく農家の育成という意味を込めている。

5 新ステージに向けて共創・挑戦・発信するまち

意見：地域には男性女性を問わず優秀な人材が多くいらっしゃる。今後も地域とのコミュニケーションを図りながら、活力ある共創の推進をお願いする。

6 効率的で質の高い行財政経営

Q：中長期的な歳入増加や経費縮減につながる賢い支出とはどのような支出か。

A：歳入増加策は、人口増加策や経済活性化策など。経費縮減策は、ICTの活用、公共施設の長寿命化、医療費の縮減につながる事業など。

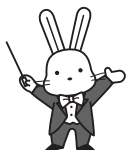
令和3年度予算の前提となる市の最重要計画であるため、予算審査に入る前の3月15日に委員会審査、16日に本会議で採決を行い、賛成多数で可決しました。

総合計画まちづくり基本ビジョン審査特別委員会

委員長 半沢 正典（真政会）

副委員長 斎藤 正臣（真結の会）

総合計画の詳しい内容は、市政だより5月号折込の概要版をご覧ください。



常任委員会・予算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案並びに予算の主な審査内容を紹介します。

総務

◆予算審査

・新型コロナウイルス感染症対策費

令和3年度の当初予算における新型コロナウイルス対策費は、避難所対策として、テント型パーティションやエアベッド、手指消毒用アルコールなどの備蓄費用が計上された。テント型パーティションは現在2,000張りを備蓄しているが、令和元年の台風第19号時の避難者数である5,000名分の備蓄を計画している。

なお、市全体の予算の中における新型コロナウイルス感染症対策費としては計92事業、13億900万円が計上された。



・ふるさと寄附金

施策や魅力をPRし共感を得る、まちづくり応援型ふるさと納税を積極的に展開し、寄付金収入として10億円を見込んでいる。

文教福祉

◆議案審査

・福島市食品衛生法施行条例の一部改正

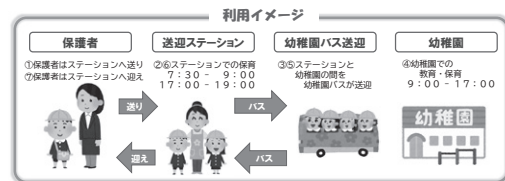
食品衛生法施行令の改正に伴い、食品営業許可業種名を改める。

また、許可申請受付から許可可否決定までの事務処理および現地調査時間などが増大しているため、食品営業許可手数料を改める。

◆予算審査

・幼稚園送迎ステーション事業費

2歳児までが対象の地域型保育施設を卒園し転園する際に、私立幼稚園も選択できるよう、保護者の就労時間と開園時間のミスマッチ解消を図るため、幼稚園登園前・降園後に預かり保育を行い、預かり保育の場所から各園のバスで送迎する。



経済民生

◆議案審査

・福島市企業立地促進条例

本市工業団地の分譲用地の不足や企業の用地需要と多様な企業立地のスタイルに対応するため、民有地への誘導および活用の拡大を行う。

また、対象業種に小売業を追加するとともに、特定集積産業の見直しを行い、ロボット・航空を追加する。

さらに、本社機能移転などへの用地取得の支援について、用途区域の制限を撤廃するなどの拡大見直しを実施する。

◆予算審査

・結婚新生活支援事業費

結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得や貸借費用(敷金・礼金・家賃など)および引っ越し費用などの一部を補助する。



建設水道

◆議案審査

・財産取得(軽量排水ポンプユニット)

水害常襲地帯において、作業条件の悪い個所で行う内水排除作業に使用しているポンプを従来と比べて軽量化した人力で設営可能な軽量ポンプとする。

高い機動性を持ち従来より迅速で安全な作業が可能となることから、浸水被害の軽減を目的として新たに10台取得する。



◆予算審査

・河川強靱化事業費

頻発する豪雨や台風などによる浸水の予防および被害軽減のため、瀬上工業団地および平野林添調整池の改修ほか、14河川16カ所の改修や測量設計を実施し、新たな5カ年計画で普通河川の整備を進める。

～議案等の審議結果～

結果欄：○→原案可決、同意、認定、採択
×→原案否決、不同意、不認定、不採択



各議案の概要および資料などは、QRコードからご覧ください。



1月18日緊急会議

[市長提出議案 / 2件]

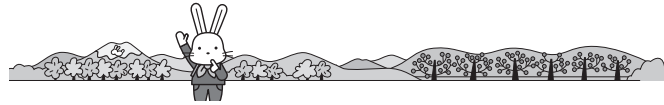
区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計（第11号）	○
その他	専決処分承認	○

3月定例会議

[市長提出議案 / 60件]

区分	件名	結果
総合計画案	福島市総合計画まちづくり基本ビジョン策定	○
令和3年度予算案	福島市一般会計、福島市水道事業会計、福島市下水道事業会計、福島市農業集落排水事業会計、福島市国民健康保険事業費特別会計、福島市飯坂町財産区特別会計、福島市公設地方卸売市場事業費特別会計、福島市土地区画整理事業費特別会計、福島市介護保険事業費特別会計、福島市庁舎整備基金運用特別会計、福島市後期高齢者医療事業費特別会計、福島市青木財産区特別会計、福島市工業団地整備事業費特別会計、福島市母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計	○
令和3年度補正予算案	福島市一般会計	○
令和2年度補正予算案	福島市一般会計（第13号、第14号、第15号）、福島市水道事業会計（第3号、第4号）、福島市下水道事業会計（第3号、第4号）、福島市国民健康保険事業費特別会計、福島市土地区画整理事業費特別会計、福島市庁舎整備基金運用特別会計、福島市後期高齢者医療事業費特別会計、福島市公設地方卸売市場事業費特別会計	○
条例制定案	福島市前澤未来基金条例 福島市企業立地促進条例 令和3年福島県沖地震関連災害による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例 令和3年福島県沖地震関連災害による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例	○
条例改正案	福島市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例 特別職の職員で非常勤のものの報酬等に関する条例 市長等の給与に関する条例 福島市職員の給与に関する条例等 福島市手数料条例 福島市立学校条例 福島市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等 福島市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例 福島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等 福島市国民健康保険条例等 福島市介護保険条例 福島市食品衛生法施行条例 福島市屋外広告物条例 福島市道路構造の技術的基準を定める条例 福島市水道条例	○
条例廃止案	福島市魚介類行商人の登録に関する条例	○
人事案件	農業委員会委員任命（渡邊友一氏） 固定資産評価審査委員会委員選任（永山裕己氏） 固定資産評価員選任（杉内剛氏） 人権擁護委員候補者推薦（佐藤清子氏、駒田晋一氏）	○
その他	市道路線の認定及び廃止 包括外部監査契約 工事請負契約の一部変更（福島養護学校校舎等改築事業 校舎棟・ものづくり棟改築工事（建築）） 財産取得（軽量排水ポンプユニット） 財産取得（小・中・特別支援学校児童生徒用机椅子） 専決処分承認 工事請負契約の一部変更（令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業本体建築工事） 工事請負契約の一部変更（令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業本体電気設備工事）	○

3月定例会議



〔委員会、議員提出議案／5件〕

区分	件名	結果
条例等改正案	福島市議会委員会条例	○
	福島市議会会議規則	
意見書案	新型コロナウイルス感染症のリスク低減と今後のまちづくり施策の推進を求める意見書	○
	地方自治体のデジタル化の推進を求める意見書	
	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	

〔請願／1件〕

区分	件名	結果
請願	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出方について	○

～請願・陳情のご案内～

市民の皆さまが、市政について意思や要望がある場合、請願や陳情を市議会へ提出することができます。請願は、議員の紹介を必要としますが、陳情はその必要はありません。

提出された請願・陳情の審議は、通常、委員会で審査した後、本会議において採択、不採択、継続審査を決定します。その審議結果などは、提出者（複数の場合は代表者）にお知らせします。

なお、提出方法などについて、詳しくお知りになりたいときは、QRコードから市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

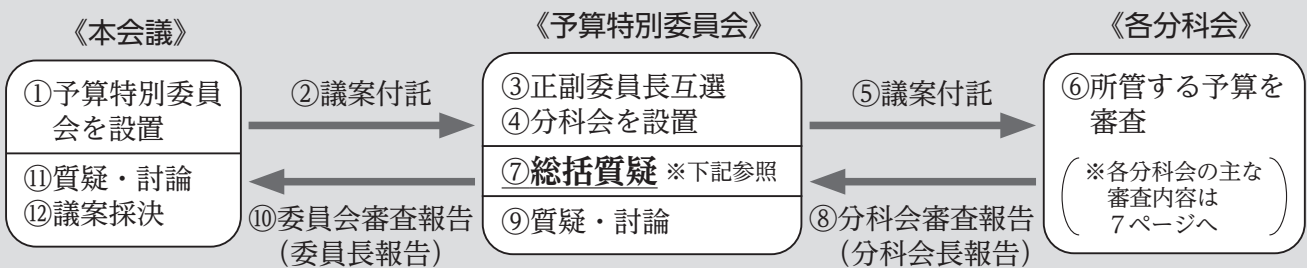


令和3年度の予算を審査 ～予算特別委員会～

議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、4つの常任委員会（総務、文教福祉、経済民生、建設水道）と新庁舎西棟建設調査特別委員会を単位とする各分科会において、新年度の予算審査を行いました。

令和3年度の一般会計当初予算額は**1,123億円**、除染関連事業費を除いた予算額（**1,081億円**）は**6年連続の増加**となりました。

予算審査の流れ



総括質疑の主な内容

Q：福島市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインが示されたが、令和3年度予算において、新まちなか広場の事業ではどのように対応するのか。

A：市で施設管理カメラを4基設置する計画である。

Q：街なか空き店舗出店支援事業費及び街なか空き店舗入居者家賃補助事業費の対象となる空き店舗について、福島市空き家バンクへの掲載の予定があるのか。

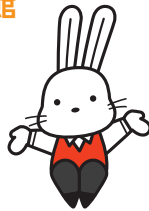
A：福島市空き家バンクにおいては、以前より空き店舗や店舗兼住宅の掲載をしているが、テナントの掲載については、今後、関係機関と協議し検討する。

■ お 知 ら せ ■

令和3年春季

議会報告会 (第一部)・
意見交換会 (第二部) を開催します

- 5/10(月) 14時～15時
清水支所 2階大会議室
- 5/10(月) 18時～19時
飯坂支所 2階大会議室
- 5/12(水) 18時30分～19時30分
蓬萊学習センター分館
2階大ホール
- 5/15(土) 14時～15時
信夫学習センター
1階ホール



●事前申し込み不要

●ご都合のよい会場へ
ぜひお気軽にご参加ください。



●議会報告会

令和2年12月定例会議から令和3年4月までに開催された議会の内容をお知らせします。

●意見交換会

テーマは設けず市政全般に対するご意見をお聴きします。

●新型コロナウイルス感染症対策として、必ずマスクを着用願います。

●**新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。**

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。詳しくは、福島市議会事務局までお問い合わせください。



令和2年秋季議会報告会・意見交換会の様子

市議会のホームページはQRコードからご覧ください。



会派名を変更しました。
旧：社民党・護憲連合
↓
新：耀(かがやき)ふくしま市議団

6月定例会議開催予定(6月1日～6月18日)

日	月	火	水	木	金	土
		1 本会議 (定例日)	2 休会 (議案調査)	3 休会 (議案調査)	4 休会 (議案調査)	5
6	7 本会議 (一般質問)	8 休会	9 休会	10 本会議 (一般質問)	11 議会運営 委員会	12
13	14 本会議 (一般質問)	15 常任委員会	16 常任委員会	17 休会 (事務整理)	18 議会運営 委員会	19 本会議 (採決等)

◆本会議は、通常午前10時から開会予定です。

◆6月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、6月2日(水)午前11時です。

◆日程、開会時間は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎525-3776)までお問い合わせください。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号

電話 024-525-3776

FAX 024-534-2520

福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>

発行：福島市議会 編集：広報委員会